

1 号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和6年3月18日（月）
招集の場所	3階会議室
開会	午後3時30分
出席者	委員長 柳田 政喜 副委員長 赤坂 芳則 委 員 平吹 俊雄 委 員 藤田 洋一 委 員 前原 吉宏 委 員 村松 秀雄
欠席者	
職務のため出席した者の職氏 名	事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂
協議事項	1) 調査研究テーマについて 2) 陳情書の検討
その他	なし
閉会	午後4時

2号様式 協議の経過

	開会
柳田委員長	ただいまより第2回教育民生常任委員会を始めさせていただきます。委員6名出席ですので、当委員会は成立いたします。 それでは早速、協議のほうに入らせていただきたいと思います。今回の会議事項ですけれども、調査研究テーマについてと、陳情書の検討についての二つでございます。 まず最初に調査研究のテーマについて皆さんで検討していきたいと思います。次長のほうから資料を出していただきました。 まず、こちらのパソコンの画面上のようなやつ、こちらが過去に教育民生常任委員会のほうで意見した部分でございます。平成25年3月から載っていますね。 少子高齢化対策、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計の保険給付費を減額するための対策。学校給食費補助制度及び食材の件、地場産利用拡大について、ごみの減量化について、子育て支援対策について、健康な身体づくり対策について、奨学金による人材確保について、健康で長生きするために、子供の貧困と食事、ということになっておりました。 今回のテーマにつきまして、前にもお話ししたとおり、2年間で私たちの任期が来ますので、来年の9月までに調査研究のほうを終わらせたいと思っております。それでテーマのほうを決めていきたいと思います。 本年度につきましては、所管事務調査の予算とってございます。一旦休憩して、ちょっといろいろな意見を聞きながら進めていきたいと。休憩いたします。
	休憩 15:32 15:59 再開
柳田委員長	再開いたします。 調査研究テーマにつきまして、各委員から意見を頂きました。 平吹委員からの老老介護、認認介護、ヤングケアラー等の問題。村松委員、前原委員、藤田委員からごみ対策、ごみの減量化ということで、赤坂委員から子育て支援。あと教育というお話を頂きました。 取りあえず今回、それぞれ持ち帰って一旦、皆さんのほうでネット上とかでいろいろもう一度調べてもらいまして、明日の分科会のまとめ以降に、もう一度常任委員会のほうを開きましてテーマを決定したいので、皆さんよろしく願いいたします。 それでは調査研究テーマについては以上で終わりたいと思います。 続きまして、陳情書の検討でございますが、もうちょっと先に送ってよ

	ろしいですか。 ここに、皆さんのほうに御手元に行っているはずなので確認してください。陳情書のほう、健康保険証です。現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情書でございます。宮城県保健医協会から。 御確認のほうよろしくお願いします。 ほかにございますか。 はい、なければ、今日はこれで終わりにしたいと思います。 あした端末を持ってきてください。 だから今度は皆さん、端末で調べてみて、すぐそのページ見れるような。パスワードからやらないので、よろしくお願いします。 はい、それでは最後に副委員長から一言お願いします。 以上をもちまして第2回の教育民生常任委員会、終わります。
赤坂副委員長	そういうことで、今日決まらなかったことについては、あしたまでへ持ち帰り、それぞれ調べていただいて、あした、ひとつ結論を出したいなと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上で終わります。 御苦労さまでございました。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年3月18日

教育、民生常任委員会

委員長 _____